

仙台・若林 町歩きイベント

仙台市若林区の荒町、むにやむにや通り両商店街は、東北学院大の学生の協力を得て、拡張現実(AR)を活用した町歩きイベントを開催している。デジタルスタンプラリーやフォトコ

荒町の19店、むにやむにや通りの16店に6種類のポスターを1枚ずつ設置。スタンプラリーでは、アプリ内のカメラ機能でポスターの目印を読み取るとデジタルスタンプを入手できる。

30日までスタンプラリー

今年4月に東北学院大の五橋キャンパスが開設され、両商店街を通る若者は増加傾向にある。実行委員の岡直樹さん(58)は「イベ

商店街

撮って 巡って

AR活用 東北学院大生も協力

AR活用を通して、若者らに商店街の魅力をアピールする。30日まで。

AR活用 東北学院大生も協力

両商店街関係者と東北学院大のボランティア団体「五橋つうしん」のメンバーでつくる実行委員会が初めて企画。専用アプリ「COOAR(ココアル)」をダウンロードすれば参加できる。

全6種類を集めて12月1日以降、荒町商店街振興組合事務所を訪れた先着100人に、参加店で使える5000円分の割引券を配る。

アプリ内のカメラ機能で撮った写真が対象のフォトコンテストも開催。インスタグラムに写真を投稿する形式で、入賞者にはゲーム機やイヤホンなどの賞品が贈られる。

店舗で読んだ目印をデジタルスタンプを集める女性



事前審査を通過した12組13人が作品を発表。同工学部電気電子工学科の室山真徳教授ら4人が発想、表現、技術の観点から作品を審査した。

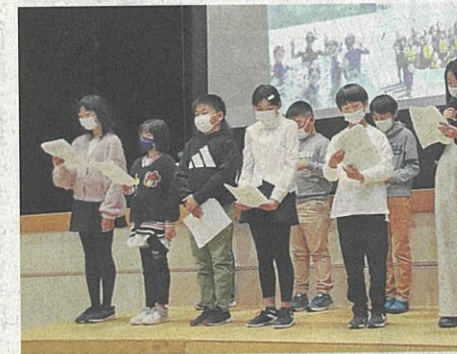
最優秀賞の「献立提案w

ラムサール登録5年

南三陸町の志津川湾がラムサール条約登録から5周年となり、記念シンポジウムが19日、同町の町総合体育館であった。町民や町内の学校関係者、児童生徒ら約100人が集まり、湾の自然の価値を未来に引き継ぐ決意を新たにしていた。

南三陸で記念シンポ

藻類や海草が育ち、海草を餌とする水鳥の種類も豊富なことから2018年10月、海藻藻場の湿地として国内で初めてラムサール条約に登録された。



活動内容を発表する自然調査隊の子

調査を行うユニークな環境教育を紹介した。中村さんは両地域の児童生徒が志津川湾のサケ、琵琶湖のビワマスと共に学んだ交流なども振り返り、「子どもたちに古里の魅力を伝えるため、宝探しができるような活動を増やしてほしい。

e bアプリ「!」はスマホで開かれ、常見さんは生プログラマ場する。常のプレゼンもらいたい

みやぎ

総合

| | | | | | | |
|-------|----|----|----|----|----|-------|
| 6 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21 | 0時 |
| 降水確率▶ | 60 | 0 | 0 | 0 | 0 | (%) |
| 仙台東部 | | | | | | |
| | | | | | | 13 10 |

